



東京オリンピック後の学校

校長 桑原啓成

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長は、通常国会終盤で、東京オリンピック開催に伴う新型コロナの感染リスクに繰り返し懸念を表明していました。ところが、最終的な提言内容を公表して会見に臨んだ尾身会長は、オリンピックそのものの中止、延期についての言及がないことについて、記者から問われると、以下のような答え方をしました。「菅義偉首相がG7サミットでオリンピック開催を表明したことで、検討の意味がなくなった。当初は開催の有無を含めて検討していたが、触れなかった」要するに、中止や延期を進言したところで無駄であり、開催は既定路線なのだから、それに沿った見解をまとめたということなのでしょう。コロナ禍でのオリンピックという国難を乗り越えるために、国民が一丸となることを選択したという姿勢に大きな疑問を感じます。矛盾だらけの東京オリンピックを、子どもたちにどう伝えるべきか、学校現場の苦悩です。

さて、メセナ事業の一環で、6年生がJICA青年海外協力隊派遣経験者（四方田隆聖よもだりゅうせい氏）からお話を聞く機会がありました。アフリカタンザニアでの経験を、子どもたちが興味関心をもつように、現地の通貨や衣服、写真を使ってお話ししてくれました。四方田氏は、現地の学校で体育の指導を通してスポーツのもつ力を発展途上国の子どもたちに伝えたかったと言います。後半は、同じJICA青年海外協力隊でカンボジアに派遣されている方とオンラインで交流しました。この方も、スポーツ普及のために現地の学校で体育の指導をしているそうです。スポーツは、運動に親しむことによって、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図るとともに爽快感・達成感・他者との連帯感等、精神的な充足も図り、更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進に大きな効果を得ることができます。また、スポーツには、人間の可能性の極限を追求する営みという意義もあり、競技スポーツに打ち込む選手のひたむきな姿や高い技術は、人々のスポーツへの関心を高め、夢や感動を与えるなど、活力ある健全な社会の形成にも大きく貢献するものです。スポーツのもつ社会的意義を整理すると、次の視点が考えられます。①青少年の健全育成②地域コミュニティの醸成③経済発展への寄与④国際友好・親善への貢献です。オリンピックは、どの視点も同レベルで実施されるべきと思いますが、今回の東京オリンピックは、③の要素があまりにも強いと思われます。オリンピックは、どの視点も同レベルで実施されることで、全ての人が納得し、心からアスリートのパフォーマンスに感動することができるのです。

では、東京オリンピックは、どうでしょうか。マスコミは、反対論から「どうせ開催するのなら盛り上がった方が得」という論調に変わりつつあります。つい最近まで、オリンピックの開催に疑念を抱かせるような報道を展開していた大手メディアも、次第にオリンピックの選手動向や競技内容についての報道が多くなりつつあります。ここのところの世論調査でも、以前に比べて、オリンピックの中止や延期を支持する人の数が減ってきています。もはや後戻りできない段階へ入ったという諦観と、繰り返される「安全・安心」の喧伝を信じたいという希望的観測、どうせ反対しても無駄というあきらめからくる焦燥感に満ちてきました。専門家有志の提言の中には、ワクチン接種が順調に進んでも、7月、8月には感染者、重症者の再増加の可能性のあることが指摘されています。オリンピック後は、2学期です。感染が落ち着くことを念頭に、1学期に予定していた行事を延期しました。しかし、オリンピック後の感染爆発を視野に入れて、今のうちからしっかり見通しをもって、子どもたちに正常な学校生活を送らせてあげるための準備をしておかなければなりません。

富良野メセナ協会事業

～タンザニアなどの生活を学びました～

16日(水)には6年を対象に、北海道ベースボールリーグの四方田選手をお招きして、海外青年協力隊として働いてきた経験やアフリカのタンザニアの様子などをお話いただきました。

また、オンライン会議システムを活用したカンボジアの小学生との交流では、どの子ども映像に目を輝かせている様子でした。



【2年2組の様子】

1学期最後の参観日

21日(月)から1学期最後の授業参観が行われました。今回も新型コロナウイルス感染症対策のため、「家庭1名の入れ替え制」となりましたが、連日、たくさんの保護者の皆様においでいただきました。ありがとうございました。

教室に入ってきたご家族の姿を見付けると、嬉しそうな笑顔を見せた子どもたちもいました。

授業改善推進チーム活用事業

以前お知らせしました、国語と算数のTT授業を行い、授業の質の向上を目指す「授業改善推進チーム」をご紹介します。

富良野小の太田です。今年度から、富良野小もこの事業に参加することになり、お世話になります。私は、6年前まで扇山小に勤務していました。以前と変わらず素直で元気いっぱいの子どもたちに出会えたことに懐かしさと喜びを感じています。

主に、低学年の授業に入ります。先生方や子どもたちのサポートができるように頑張っていきます。1年間よろしく願います。



太田 圭一 (富良野小)

東小の北川です。昨年度に続き、授業改善推進チームとして勤務させていただきます。扇山小では巡回のたびに子どもたちが明るい挨拶をしてくれるので、いつも元気をもらっています。

また、授業では一生懸命学習に取り組む姿を見させてくれます。

今年度も扇山小の子どもたちと先生方からたくさん学ばせていただけることをうれしく思います。1年間よろしく願います。



北川 朋尚 (東小)

扇山小の清水です。本校での勤務は、5年目になります。主に、5・6年生の国語と算数の学習にTT(ティーム・ティーチング)として入ります。

子どもたちの学びを支えられるように、そして、子どもたちに「わかった」「できた」「楽しい」を少しでも実感させられるように、担任の先生と一緒に授業づくりについて考えていきます。1年間よろしく願います。



清水 孝治 (扇山小)

7月行事予定

- 1日(木) 遠足予備日(3年)
- 2日(金) 虹いろ保育所との交流(1年)
- 5日(月) 遠足(4年)
- 5日(月) ALT(2・5・6年)
- 6日(火) 全校集会(月)、水泳学習(1年)
- 7日(水) JA農業体験(5年)、社会科見学(4年)
- 8日(木) ALT(3~6年)、諸費再引落日
- 8日(木) 尿検査(2次)
- 12日(月) ALT(1・5・6年)
- 13日(火) 水泳学習(4・6年)、遠足(1年)



- 14日(水) 工事現場見学(6年)
- 15日(木) 自然塾(5年)、ALT(3・4・6年)
- 15日(木) 委員会④
- 16日(金) クラブ③
- 19日(月) ALT(5・6年)
- 20日(火) 水泳(5・6年)
- 21日(水) 1学期終業式
- 22日(木) 海の日
- 23日(金) スポーツの日
- 27日(火) 諸費引落日



※各行事等は、中止・延期になる場合があります。